

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月24日(14:00~14:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	3人	0人	11人

前回の改善計画	利用開始前に職員が集まり、生活状況やニーズ、支援内容について話す機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前に職員が集まる事はできなかったが、書面やミーティング、連絡ノート等を通じ情報共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	9	2	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	10	1	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	9	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ケアマネが本人の情報をまとめ、利用前に回覧、他スタッフが確認するようにしている。また、新規利用時は不安のないよう気を配ったり、はっきりとした言葉で会話し、ご利用者が何を必要としているか確認している。 最初に関わったスタッフから情報を繋げていくことで、ご本人やご家族に何度も同じ説明をさせないよう心掛け、細かな点において昼礼や連絡ノート、特記事項連絡板等で情報共有している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用開始前の期間が短いことが多く、利用して頂きながら確認したり、援助内容の変更をしていくことが多かった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 細かな事であっても連絡ノート、特記事項連絡板、手順書、昼礼などを活用しスタッフ間で情報共有する。ニーズについて、利用前には把握しづらいため、慣れた頃にご家族から聞き取りをしたりミーティング等で情報共有する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月24日(14:00~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	2人	0人	11人

前回の改善計画	センターの様子だけでなく、自宅での様子や生活歴を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご家族に話を伺ったり、情報シートを作成し生活歴の把握に努めたが、意志疎通が難しい方やご家族に会う機会が少ない方などについては情報が少ない部分もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	0	9	1	11
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	2	0	10
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	5	0	11
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	5	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること コミュニケーションを中心にご利用者の言葉や表情、声の感じ等を観察しながら援助にあたり、普段の会話からニーズを読み取る努力をしている。コミュニケーションが難しいご利用者においては、家族からの聞き取り、表情の読み取り、単語や動作などから本人のしたい事をくみ取るように心がけている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご利用者の気持ちをくみ取る努力はしているものの、情報が不十分なところもあり、職員個々で捉え方が違ってくることもある。自己実現に関しては援助する側の思いが出てしまい、ご利用者本意ではなかったところもある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご利用者とゆっくり会話し、寄り添う時間をもつ。 ご本人のやりたいことを把握し、日常の援助やアクティブに取り入れる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年8月24日 (14:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	6人	0人	11人

前回の改善計画  
一人一人今までの生活歴や好み、思い、出来る事をまとめ暮らしの情報シートを作る。

前回の改善計画に対する取組み結果  
情報シートは作成したものの、意思疎通が難しい方など情報収集があまりできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	8	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	6	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	10	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	8	3	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 昼礼、連絡ノート、特記事項連絡板を活用し、スタッフ間の情報共有に努めている。  
 食事・入浴・排泄や動き・表情等で本人の体調を確認し変化に速やかに対応できるよう心掛けた。送迎や訪問時ご家族と情報を共有し、臨機応変に対応する事が出来た。また、情報シートを作成したことによりご利用者の新たな一面を知ることが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 認知症のある方やコミュニケーションの難しい方については以前の暮らし方の把握が難しい。直接の援助の情報収集に特化してしまい、以前の暮らしから思いをくみ取ることが不足している。また、ご利用者の気持ちをくみ取れてもご家族との意向の違いで支援に繋がられないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 ご利用者とゆっくり関わる時間を持ち、本人の気持ちをくみ取るよう努める。  
 意志疎通が難しいご利用者については、送迎時や訪問時、ご家族とのコミュニケーションを積極的にとり、ご利用者の様子などを情報収集する。情報シートの見直しを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月24日(14:30~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	8人	2人	11人

前回の改善計画	社会資源について勉強する機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	社会資源についての勉強会を行う事ができず、理解不足であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	7	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	5	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	5	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	5	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族、介護者、友人、地域との関係が途切れないよう関係性作りの援助を心掛けている。また、訪問や送迎時、ご家族に会った際は自宅での様子をお聞きしたり、関係作りに努めている。 ご本人宅近隣の方にあつた時には、本人も交えて会話や挨拶し、地域の方との関係性作りを支援している。 交流スペースを整理し、カーテンや窓をいつも開けておくことや看板を出す事、回覧を町内に回す事で地域の方が来て下さることが多くなり、ご利用者と地域の方の交流も見られる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人が重度化する事で地域との関係が途切れてしまうことがある。また、サービス量が増える事で小規模中心の生活になりがちである。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域で暮らし続けるための必要な支援について情報収集し、一人ひとり資料にまとめる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月24日(14:30~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	0人	11人

前回の改善計画  
社会資源を知り柔軟なサービス提供に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
社会資源については理解不足であるが、ご本人の状態に応じ、柔軟にサービス提供することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	4	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	6	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	9	1	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	8	0	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ご利用者のその日の体調や気分などにより、通いから訪問へ変更したり、訪問の追加、ご家族の体調不良や予定変更にも柔軟に対応し変化を職員間で共有、申し送りながら支援することが出来た。  
ご利用者が今までの生活を継続できるよう、買い物や友人宅へ出掛ける事を支援している。  
必要に応じ、受診の付き添いや散髪援助も行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域の機関とご利用者について連携を図れておらず、元々の関係性から社会資源を活用できていない方もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
地域資源についての情報収集を行い、資料にまとめる。  
地域の民生委員と情報共有を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月25日(14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	0人	10人

前回の改善計画  
 運営推進会議や他事業所との会議など、一般職員は参加できていない為、どのような事をしているのか話し合いの内容など他の職員へ周知されるよう資料などで把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 会議録等は回覧に挟み、職員へ周知するようしていた。しかし、話し合いの内容の詳細までは把握できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	4	0	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	1	9	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	3	6	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	7	3	1	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 毎月オンラインカフェや行事を行う事で地域との関わりを持つことができている。回覧やポスターなどで地域に情報を発信する事で、子供や地域の方が足を運んで下さったり、地域の方が相談に来られることが増えた。  
 ご利用者の状態に合わせ福祉用具や訪問看護などのサービス機関と連携を図っている。会議の他、状態変化があった時には電話連絡や事業所へ訪問し、随時報告や相談を行っている。  
 近隣住民のボランティアが定期的に訪れて下さり、ご利用者とコミュニケーションを図って下さっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 地域のイベントへの参加はお祭りのみの参加となり、他はできていない。他事業所との会議は担当者会議のみであり一般職員は参加せず理解が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 担当者会議にケアマネだけでなく介護職員も参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月25日(14:00~14:30)

7. 運営

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	5人	0人	11人

前回の改善計画	千手カフェ等、地域の方の参加して頂く活動に職員が順番に参加し地域の特性や住民の意見を聞く機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	千手カフェは担当の職員が中心となり、他の職員は参加できていない状況にある。行事等ではそれぞれの担当が中心となり地域の方との関わりが持てている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	6	4	1	11
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	4	0	11
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	2	3	11
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	8	2	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 毎月行うミーティングを通して、サービス内容や事業所のあり方を職員が意見・検討している。 ご利用者やご家族から意見を頂いた時には、今後活かせるようスタッフで話し合いを行い反映できるよう努力している。 ご利用者、ご家族から意見や思いを言って頂けるよう、日頃の会話から話しやすい雰囲気作りを心がけている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域から意見や苦情を頂く関係性作りがまだできていない。 センターの行事には地域の方より参加頂いているが、地域の行事には町内の祭りしか出向けていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域の活動について情報収集を行い、参加していく。また、地域へ散歩に出掛ける等、身近なところから地域に出掛ける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月25日(14:30~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	0人	11人

前回の改善計画	職員全員が一回は研修に参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月のセンター内研修では担当を決め、職員がそれぞれ一回は参加できている。 外部研修についても、順番に参加できるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	4	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	5	4	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	10	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	0	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること センター内で毎月研修を行い、担当者は事前に資料作りを行い学習会を行っている。出席できなかった職員については書面にて確認している。 事故報告書、ヒヤリハットをまとめスタッフへ周知し、ミーティングの際にも共有し改善策の話し合いを行い再発防止に努めている。こぶし園内で起きた事故や、他で起きている事故に対しても、当該事業所に置き換えて対策をとっている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 業務の都合により、外部の研修には参加しづらい。 リスクマネジメントに取り組んでいるものの、同じような事故やヒヤリハットが続いてしまう事もある(認知症のある方が転倒されてしまう事など)
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミーティングで毎月の研修内容を振り返る機会を持つ。
---------------	---------------------------------------



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月25日(14:30~15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	1人	10人

前回の改善計画

意見交換や会議をする場合、パーテーションを閉める。  
馴れ合いから誤解を招く事もある為、言動や言葉掛けに十分注意する。研修について言葉の拘束や虐待に該当する発言がないか振り返りの研修を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

プライバシー、身体拘束の研修は年3回行い、定期的に振り返りの機会を持つことが出来た。  
会議の際はパーテーションを閉めているものの、毎日の昼礼では見守りしながら同じフロアで行っていたことが多くなってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	2	9	0	0	11
② 虐待は行われていない	7	4	0	0	11
③ プライバシーが守られている	0	8	3	0	11
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	3	3	9
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	2	9	0	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束や虐待の行為は無かった。  
身体拘束、虐待、プライバシーに関しては定期的に研修を行っており、振り返りを行う機会を持っている。  
ご利用者のプライバシーに関して、訪問時にご利用者の情報が分かるものは持ち歩かず、センター預かりの鍵も名前ではなく番号にし、取り扱いには十分注意している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

声が大きく、他ご利用者へ職員同士の申し送り内容が聞こえてしまうことがあった。身体拘束は行われていないが、転倒防止への意識が優先されてしまい、「座っていきましょう」等の行動を抑制する声掛けをすることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

敬意を持った言葉使いを徹底し、拘束や虐待にあたらぬか振り返りの機会をもつ。